

## 8-4-17 交通基盤技術委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の開催

交通基盤技術委員会を5回(7月、9月、10月、12月、3月)開催した。

委員会内容は、委員会・専門委員会・WGの月次報告、技術部会・常任理事会・統括技術委員会の審議・指示事項の周知・対応等について実施した。

#### (2) 未来塾検討テーマへの対応

##### a) 工事発注時チェックシート(案)の運用

国土交通省関東地方整備局において、「工事発注時チェックシート(案)」として運用開始。

##### b) DXを推進する取り組み

書籍を扱う日本道路協会から書籍の電子化について意見交換会・説明会が開催され、令和7年度より電子図書利用サービスが運用されることとなった。

#### (3) 共通仕様書、標準歩掛の改訂要望の提出

現行の共通仕様書及び標準歩掛について国交省技術調査課に改訂要望を提出する資料(共通仕様書、標準歩掛のそれぞれについて)の作成と改訂の優先順位を提示した。

業務等の積算改善業務におけるヒアリング対応(道路予備修正設計(A・B)、道路トンネル点検業務、コンクリート上部工、鋼橋上部工、横断歩道橋詳細、橋梁定期点検要領)

仮設設計の「任意」と「指定」の扱いについて、設計工種ごとに記載内容を確認し要望。

#### (4) 「設計業務等標準積算基準書の解説」改訂に関する編集委員会への参画

積算基準書の改訂に関する編集委員会に参画し、講習会の講師を選定し、講習会で講演を実施した。

#### (5) 国総研共同研究への参加

##### a) 既設道路橋群の維持管理計画の継続的改善に関する共同研究

実施する研究員は、道路構造物専門委員会・近畿支部・道路専門委員会から人選し、

インフラアセットマネジメント体系の運用に必要なデータ整備、道路性能評価指標、将来推計(LCC)の標準化、法定点検における性能検証のためのロジックツリーの検討、法定点検の解釈基準の作成等を実施している。本共同研究は活動期間が延長となり、メンバーを再調整し活動を再開した。活動内容は、橋梁の定期点検要領の改訂への反映が行われている。

#### (6) 他協会からの要請対応

国総研の次期積算システム検討WGにWGメンバーを推薦した。

国土地理院の令和5年度公共測量に関する課題調査検討委員会に道路専門委員会から委員を推薦した。

国交省道路局の新道路技術会議(ソフト分野)に道路専門委員会から委員(継続)を推薦した。

日建連とのプレキャスト工法に係る意見交換会に、道路専門委員会と道路構造物専門委員会から参加し、プレキャストの普及に関する意見交換を実施した。

### 2. 次年度の活動について

令和6年度も交通基盤技術委員会として、本年度事業を引続き実施する。

- ・事業計画に基づく委員会の定例的活動
- ・当委員会が対応すべき分野横断的なテーマの検討、特に統括技術委員会の各WGで検討する課題への対応
- ・各専門委員会からの要望への対応、上位機関への上程
- ・RCCM 自主学习・教材の作成・更新
- ・国交省等との連携・調査・検討への対応
- ・土研、国総研との技術交流
- ・白書・対外活動への支援等

(交通基盤技術委員会委員長 小原 淳一)